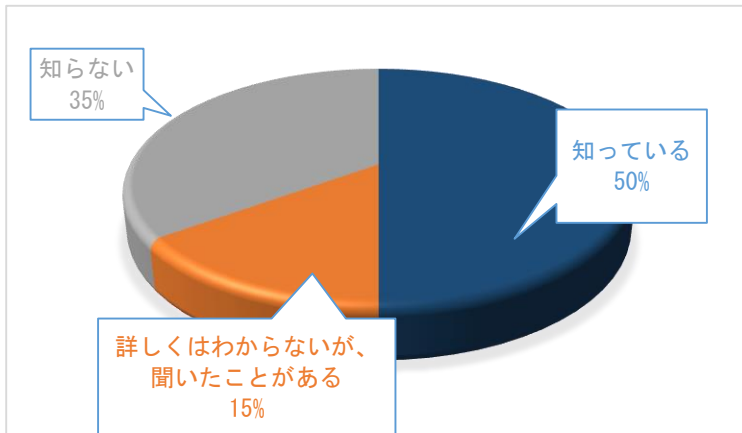


1 「北海道 150 年」を知っていますか

本道が、2018 年（平成 30 年）に、「北海道」と命名されてから 150 年目の節目を迎えることを知っていますか。



2 次の世代に伝えたいもの（こと）

あなたが次の世代に伝えたい大切なもの（こと）は何ですか。（特にない場合は記入不要です。）

【主な意見】

- ・ 自然環境の保全
- ・ 第一次産業の継続性
- ・ 北海道がここまで発展できたのは、先住民族のアイヌの方々が大自然を守ってきたことと原生林を切り開き肥沃な大地に開墾した、全国から入植された開拓者の努力あってのものであることを、再確認するための歴史を残していきたい。
- ・ 北海道にはアイヌという先住民族がいたこと。後から北海道に入ってきた和人とアイヌとの争いの事実。明治になって北海道を開拓した時の中心人物は薩摩藩出身者であったこと。北海道開拓では、目先ではなく、先を見て人を育てることに力を入れていたこと。
- ・ 北海道の歴史や文化、先人たちの思いや郷土愛など
- ・ 北海道の雄大な自然、世界に誇れる食文化
- ・ 過去・現在まで先住民族が住み、蝦夷地の積雪寒冷地で生き抜いてきた先人の知恵と努力を継承しながら、北海道の豊かな自然環境と、国内ばかりではなく特にアジア地域から見えるお客様が一応に絶賛する道産材を使用した農業産品や食品開発の労苦など。
- ・ 大自然、農業自然など、北海道にのみ残されている景観を残さなくてはならない。
- ・ 先人たちの苦勞・知恵・努力（偉人だけではなく、普通の道民をクローズアップしてほしい）、先人たちが考えていた北海道の可能性
- ・ フロンティアスピリット、ポジティブなところを、後世に伝えたい。
- ・ 北海道の最大の魅力は大自然に有り。この豊かな大地を大切にしながら新しい事に挑戦してほしい。

北海道 150 年事業に関するアンケート調査 実施状況

28.6.17 現在 アンケート提出総数：20 件

3 「北海道 150 年事業」への視点、アイデア

「北海道 150 年」を節目とする記念事業を行う場合に、大切だと思う分野や視点、又は具体的な事業のアイデアなどがあればご記入ください。

【主な意見】

- ・ 記念事業という位置づけで道立施設の改修事業の実施
- ・ 記念事業という位置づけで北海道道の改修事業の実施
- ・ 各道立学校での北海道 150 年記念イベントの実施
- ・ 「道民カレッジ」北海道 150 年記念インターネット講座の開催
- ・ 若い世代にめをむけた P L A N を！！
- ・ 松阪市にある「松浦武四郎記念館」の職員の方々を招待し武四郎氏に関する諸々のことを紹介してもらおう。
- ・ 松阪市にある「生家」が武四郎氏生誕 2 0 0 年の 2 0 1 8 年に向けて整備保存され一般公開されるということなので、その紹介をしてほしい。
- ・ 三重県からは、明治の時代に多くの開拓団（三重団体）が入植されたり、昨今では厚真町で「武四郎だんご」販売している方や、美瑛町で夏のみ「給食室」という民宿をさせている方等がいるので、北海道から三重で活躍されてるかたと合わせて懇談会を開いては如何か。
- ・ これからの北海道を支える人物を育てる教育システムおよび内容を検討し、2 0 1 8 年からスタートすること。明治時代にアメリカの農務省からケプロンやダンを呼んで酪農を北海道に根付かせ、クラークを呼んで国際的に活躍できる人材育成を図った。北海道 1 5 0 年を記念するのであれば、単なる 1 ～ 2 年で終わる行事ではなく、これからの北海道を支える人物を育てる教育のスタートの年にすべきである。
- ・ 1 4 0 年前の人物が将来の日本を考えた人材育成を行った。札幌農学校からは新渡戸稲造を代表とする世界で活躍する人物が育った。もう一度、将来の北海道、日本を支える人物を育てる教育を行ってもいいのではないだろうか。
- ・ 北海道の歴史を改めて検証し、啓蒙・啓発する事業を望みます。
- ・ 各分野各世代による横断的な議論により、多くの人が当事者意識を持ちこの事業に関わること。
- ・ 開拓からの歴史を北海道の歴史と決めつけるのではなく、それ以前のアイヌ民族の歴史も考慮することが肝要である。
- ・ 札幌オリンピックなどで世界的知名度も高まった北海道の「これから」をどのようにすべきかこの機会を利用して道民全員で議論することも肝要であると考えます。
- ・ 北海道の最大の武器、誇れる長所は雄大な自然だと思います。日本各地はもちろん、海外からの観光客も多く訪れる魅力をととも身近に感じられることを活かす事業を展開していくべきだと思います。
- ・ 北海道は不思議な島で、年間 1 0 0 0 万人を超える観光客が来道するのに、北海道の人口減少が急速に進んでいる。つい最近まで 5 7 0 万道民と言っていたのにすでに、5 5 0 万を切り、根本的にこれからの人達がそこで暮らしてゆくような生産産業が育っていないのではな

北海道 150 年事業に関するアンケート調査 実施状況

28.6.17 現在 アンケート提出総数：20 件

いか？イマイチド、これでよいのか北海道を考える必要があるのではないか？

- ・新しいことというよりは、原点に立ち返って、北海道の魅力を見直し、それを磨きなおす取り組みが将来の北海道につながると思います。
- ・最近の北海道は、観光地化しすぎてとても残念に思うところが多々あります。商売根性丸出しな人が多かったり、ガイドブックに載ってる市場は、観光客しかいなかったり。もっと、地元の人にも愛される場所も知りたい。
- ・先住民族の生活や開拓の歴史など、学校で詳しく教えられていないものについて、再認識できるような催事を各地域で行うなど、全道で記念事業を展開。
- ・視点：150、オール北海道、道民が楽しめる、観光客増が期待できる、日本初、マスコミが発信しやすい、SNSで拡散しやすい
- ・事業：150機のドローンが舞うイベント（シドニーで開催：ドローン100機）、150匹ワンチャン（北海道犬）大集合、道民生活（ライフスタイル）の変遷を知るイベント（アイヌ～明治～平成）、北海道ゆかりの芸能人・スポーツ選手等による聖火リレー、1次産業と巨大アートの融合、全道各地での同時フラッシュ・モブ（ダンス・クラシック演奏）、YOUTUBEと連携した北海道PR動画コンテスト、明治時代の北海道展（当時の身の回り品・手紙などを道民から収集）
- ・後世に残しておける樹木の提供があるとうれしい。以前の記念事業でもあったと思うが、地方で土地に余裕があるところでは、樹木の提供が記念事業としてはよいのではないか。
- ・観光、農業、環境、広域行政
- ・北海道開拓に尽力した市井の人々を発掘して照明を当てる
- ・北海道が生んだ偉人（思想家、政治家、アスリート、芸術家、芸能人、学者等）を紹介する
- ・将来に向けて北海道が大きな役割を果たす可能性を秘めた大樹町の航空宇宙産業をPRする
- ・酪農振興を図るため、輸入トウモロコシから機能性発酵飼料（WDGS）を生産して飼料コスト削減、副産物のエタノールをガソリンに混合して2酸化炭素を削減する
- ・北海道の各種観光資源（自然景観、野生動物ビューポイント、地域固有産業、レジャー施設等）を高速交通ネットワークで結んで新たな周遊観光ルートを創出する
- ・記念事業は道民全体で祝えるようにするべきだと思う。中心部だけで記念事業を行っては端々の道民は自分には関係ないことと思うことになる。北海道民一丸となってお祝いできるように、記念日一日だけ各家庭に紙で出来た北海道旗を掲げてもらうのもいいと思う。

4 「北海道 150 年道民検討会議」「北海道みらいワーキング」へのご意見

「北海道 150 年道民検討会議」「北海道みらいワーキング」の議論、資料等へご意見があればご記入ください。

【主な意見】

- ・イベントの実施にあたっては低予算に抑える必要があると考える
- ・毎回の会議では、議事に沿って委員が意見表明するが、各テーマについて事前に市民から意見

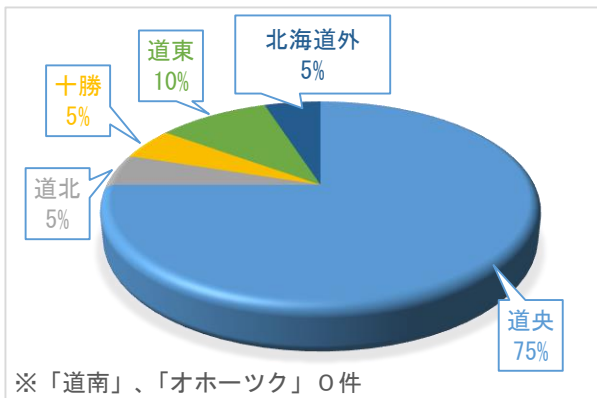
北海道 150 年事業に関するアンケート調査 実施状況

28.6.17 現在 アンケート提出総数：20 件

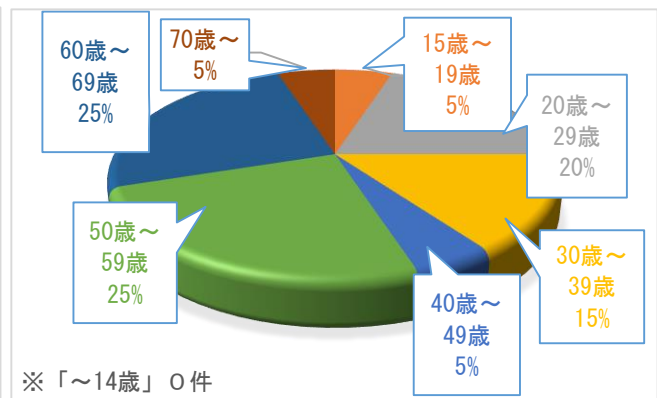
を収集しておき、会議で各委員の意見と並べて紹介し、検討の俎上にあげてはいかがか。

- ・松浦武四郎は明治政府に対して6つの地名（海島道、千島道、海北道、日高見堂、北加伊道、東北道）アイデアを提示したといわれているので、今新たに新・北海道名を公募してみてもどうだろう。
- ・行政ベースで動くと、どうしても縦割りになってしまう、抜け漏れが生ずるので、そこをお互いの努力で埋めるような取り組みをして欲しい。
- ・アプリを作るのであれば、今まで見たことのないような徹底的に面白いものを作ってください。
- ・「試される大地」から、「その先の、道へ。北海道」のキャッチフレーズが生きる事業を企画していただけると嬉しい。
- ・元気な北海道であるよう、自然の豊かさをいつまでも持続していける環境の保護。観光は、決してホテルやみやげ物屋、レストランだけが伸ばしているわけではないので、第1次産業の手を掛けた豊かな美しい自然をアピールできる、説明できる人材の育成に尽力してください。

5 お住まいの地域



6 年齢区分



7 ご職業

